

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	音楽 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2 単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	------

教科書名	MOUSA 1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	◎	◎	○	授 業 の 概 要 基礎的な技能を踏まえ、歌唱、器楽、鑑賞活動を行います。歌唱では、さまざまな国の歌に親しみます。また、正確な音程や響きの統一により美しいハーモニーづくりを目指します。器楽ではギター、篠笛の基本的な奏法を学びます。
		歌唱：正しい姿勢や呼吸法、発声法を身に付けよう	○ 「Ave Maria」、「群青」「歩いて帰ろう」「いのちの歌」 ・基礎的な歌唱技能の確認				
		歌唱：ドイツ語の歌に親しもう	○ 「Heidenroslein」 ・ 歌詞の内容の理解	◎	◎	○	
	5	器楽：ギターに挑戦1(単旋律)	○ 「第三の男のテーマ」 ・ギターの基本的な奏法と単旋律の演奏	◎	◎	○	学 習 の 到 達 目 標 ・ 楽曲に合った豊かな発声法や響かせ方を工夫し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現をすることができる。 ・ ギター、篠笛の基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ 音楽材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくることできる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠を持って自分なりに批評することができる。
		中間考査(5/19～5/22)	・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫			◎	
		鑑賞：ミュージカルに親しもう	○ 「美女と野獣」 ・コードの確認と弾き歌い	◎	◎	○	
	6	歌唱：ギターに挑戦2(コード)	○ 「第三の男のテーマ」「日曜日よりの使者」 ・コードの確認と弾き歌い				評 価 の 観 点 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
		期末考査(6/26～7/2)					
二 学 期	7	歌唱：二部合唱に挑戦しよう	○ 「美女と野獣」 ・曲の雰囲気合う表現の工夫	◎	◎	○	思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
		夏季休業日(7/18～8/26)					
		歌唱：イタリア語の歌に親しもう	○ 「O sole mio」 ・ 歌詞の内容を理解し、表現を深めた歌唱 ・ 用語や記号を表現に生かした歌唱	◎	◎	○	
	9	鑑賞：ミュージカルに親しもう	○ 「レ・ミゼラブル」 ・ ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	○		◎	主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		歌唱：ミュージカルに挑戦しよう	・アンサンブルの楽しさと登場人物の心情を考える				
		中間考査(10/6～10/9)					
	10	創作：iPadで作曲活動	○ オリジナル着信音の作曲 ・ 音を加えたり、リズムや拍子、調などの要素を変えたメロディーづくり	○		◎	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体物には、おもに「出席」「授業態度・取組方」「実技テスト(歌唱・器楽)」「提出物(創作・鑑賞)」「小テスト(知識・理解)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		器楽：篠笛に挑戦	○ 「ほたるこい」、「さくら」 ・ 基本的な奏法の確認、リズムの工夫と応用的な奏法の工夫	◎	◎	○	
		期末考査(11/26～12/2)					
三 学 期	11	鑑賞：歌謡曲からJ-popへの100年	○ 「真つ赤な太陽」「クリスマス・イブ」 ・ 自分と音楽との関りについて考えよう	○		◎	備 考
		冬季休業日(12/19～1/7)					
		歌唱：日本歌曲を歌おう	○ 「この道」 ・ 日本語の美しい響き、鼻濁音について	◎	◎	○	
	12	器楽：ピアノ連弾	○ J-pop連弾に挑戦する ・連弾のコミュニケーションと表現力	○	◎	◎	
		学年末考査4・5年(2/22～2/28)					
		歌唱：ヴォイスアンサンブルを楽しもう	○ヴォイスパーカッション「残酷な天使のテーゼ」 ・ パート練習及び全体練習 ・ 発音の仕方とドラマ特有の音質の表現	◎	◎	○	
	1						

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	美術 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2 単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	------

教科書名	美術 I	出版社名	光村図書
------	------	------	------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学期	4	オリエンテーション 平面構成(デザイン)	美術 I について イメージを形に(伝えるデザイン) ・さまざまな配色 ・アイデアスケッチ①、② ・アイデアスケッチ③、④	○			授 業 の 概 要 「美術 I」では、美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
	5	中間考査(5/19～5/22)	・アイデアスケッチ⑤、⑥(配色計画) ・下書き①、② ・着色①、② ・着色③、④ ・着色⑤、⑥ ・完成	○	○	○	
	6	期末考査(6/26～7/2)	・相互鑑賞	○			
	7	自画像(絵画)	・写真撮影①、② ・自画像とは(自己を表す)	○	○	○	
	8	夏季休業日(7/18～8/26)					
	9		・フォトショップによるデジタル加工作業①、② ・フォトショップによるデジタル加工作業③、④ ・下描き①、② ・下描き③、④ ・下塗り①、② ・下塗り③、④ ・上塗り①、② ・上塗り③、④ ・上塗り⑤、⑥ ・上塗り⑦、⑧ ・上塗り⑨、⑩ ・仕上げ ・完成	○	○	○	
二 学期	10	中間考査(10/6～10/9)		○	○	○	評 価 の 観 点 知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 思考・判断・表現 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
	11	期末考査(11/26～12/2)	・相互鑑賞	○		○	
	12	鑑賞 切り絵制作(デザイン・彫刻)	・映像鑑賞 ・切り絵の基本的な特徴 アイデアスケッチ 1	○		○	
	1	冬季休業日(12/19～1/7)					
	2	切り絵制作(デザイン・彫刻)	・アイデアスケッチ 2 原案完成 ・転写①、② ・カッティング①、② ・カッティング③、④ ・カッティング⑤、⑥ ・カッティング⑦、⑧		○	○	
	3	学年末考査 4・5 年(2/22～2/28)	・仕上げ(バランスを見て制作)	○		○	
三 学期	4	鑑賞 時を越える創造(鑑賞)	・仕上げ(色画用紙に貼り、額にはめる) ・相互鑑賞 ・一年間を振り返って	○		○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組み態度」の3つの観点で評価を行う。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価を行う。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定を行う。
	5						
	6						

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科書名	美術2	出版社名	光村図書
------	-----	------	------